

# 70周年記念冠事業 ～申請受付中～

## 第9回 岩本橋鯉のぼりまつり

平井地区の「地域元気づくり事業」のひとつ。呼び掛けで寄せられた鯉のぼりや矢旗を岩本橋に飾り、バザーやアトラクションを行います。大人も子どもも楽しめる、憩いとふれあいのまつりです。



【期日】 5月3日(祝・木)  
【場所】 岩本橋周辺  
平井校区元気づくり委員会  
☎ 66-0012

## ばら祭り

おもやい市民花壇をバラでいっぱいにして、訪れる人に喜んでもらい、心が癒される憩いの場所づくりとして、「ばら祭り」を開催します。

およそ1千9百株のバラが、皆さんをお迎えます。



【期日】 5月5日(祝・土)  
【場所】 おもやい市民花壇  
おもやい市民花壇の会  
☎ 62-4146

## サンキューフェスタ in 荒尾

本市と近隣地域の飲食店が自慢の料理を全て390円で提供します。あなたの1票がおいしい料理グランプリを決定します。

また、大ホールでは本市出身の歌手である清水万耶子さんのライブを開催。



【期日】 5月13日(日)  
【場所】 文化センター  
荒尾飲食店組合  
☎ 64-1701



夢をつないだ70年、さらに未来へ はばたけ荒尾  
荒尾市制施行70周年記念式典を開催

平成24年4月1日

# 荒尾市制施行70周年



【応募・問】 荒尾市役所政策企画課 企画統計係  
〒864-8686 荒尾市宮内出目390番地  
☎ 63-1274 FAX 64-0940 Eメール: arao-70th@city.arao.lg.jp

## 戦後復興の道のり

### 荒尾史を振り返る②



1 昭和25年頃の万田坑。今はない煙突や第一竪坑の櫓と巻揚機室が手前に写っている。  
2 かつて荒尾市内を走っていた炭鉱電車。

戦後、米軍軍政部の指導によって、わが国は政治・経済・教育・文化のあらゆる面で大きく変わっていきました。

昭和21年(1946)3月に労働組合法が施行されると、三池炭鉱の労働組合や民間企業、官公庁で労働組合が次々と結成されました。

22年には教育基本法が公布され、6・3・3制の学制改革が行われました。今の小学校・中学校・高等学校制度が生まれています。本市にはまず、小学校8校、中学校4校が誕生し、23年には県立荒尾高校が創立されました。各校にあるPTAが結成されたのもこのころです。

昭和22年(1947)10月の国勢調査では、本市の総人口は5万4千445人でした。さらに昭和24年7月には、6万1千906人を記録。わずか2年で約7千5百人もの増加がありました。

戦後の復興に全力を挙げるわが国の産業に、このころは石炭が重要なエネルギー源でした。そのため三池炭山の主要坑があった本市にも炭鉱関係者がどんどん流入し、市の人口は年々増え続けていました。そして昭和32年、炭鉱景気による増加はピークを迎えます。

4月8日(日)、荒尾市制施行70周年記念式典を、文化センターで開催しました。式典には来賓や荒尾市の発展に貢献された人など、およそ1,100人が出席しました。

アトラクションとして本市の伝統芸能である風流・節頭行事が披露されたり、市民栄誉賞表彰や市政功労者表彰が行われたりしました。エンディングは市民公募を含む230人の合唱で締めくくり、市民全体で荒尾市の新たな門出を祝いました。



1 エンディングの合唱は「風が咲かせる希望の街」といきものがかりの「ありがとう」の2曲を、出席者全員で歌いました。  
2 式典では、浦島熊本県知事など多くの来賓の皆さんからお祝いの言葉をいただきました。3 市民栄誉賞第1号を受賞した松尾浩也さん。本市出身で法学者の松尾さんは、法務省特別顧問。平成22年度には文化功労者として顕彰されました。  
4 荒尾市の発展に貢献した市政功労者5部門167人21団体に、表彰を行いました。式典では、各部門代表者5人に、表彰状と記念品を贈呈しました。5 式典の合唱に使用した楽曲は、昨年12月に結成された「市民楽団864(やろうよ!)」の皆さんによる生演奏でした。6 「70文字の愛ことば」では今年70歳になる弘格(ひろ・いたる)さんが、妻の多栄子(たえこ)さんへ日々の感謝を伝えました。7 本市の70年の歩みを伝える写真展では、貴重な写真を計120枚展示しました。